

青少年育成委員会 事業計画

委員長 佐藤 竜太

将来予測が困難なVUCA時代の中、子供たちはAIやデジタル機器を利用した環境の変化に適応することに加え、起こった問題について解決に導く能力だけでなく、自ら問題や課題を発見する力が求められています。また少子化の原因の1つである、子育て世代が子供を産み育てたくなる環境の醸成も未だ十分とはいえない現状があります。現在の子供たちが明るい未来を築くためにも2つの問題・課題への取り組みは必要不可欠です。

この時代を生き抜く上で必要とされている教育の1つとして、多くの学校や企業が取り組んでいるSTEAM教育があります。STEAM教育は理数教育に創造性教育を加えた教育理念で、知る（探究）とつくる（創造）のサイクルを生み出す、分野横断的な学びです。つくば市は人口の約4.8%に当たる約12,000人の外国人が居住しているなど小さい頃から自然に国際交流も図りやすい恵まれた環境にあります。私たちは事業として学校で経験する機会が少ないことや難しいことを、関係各所と手を携え、新たな価値観に触れることのできる学びの場を提供して参ります。事業を通じ、子供たちには幅広い知識の習得だけでなく、自らの考えを伝えることの大切さに気づいてもらい、自身の成長を感じていただきます。そして、子供たちが多様な価値観を理解し自分の考えを伝える力を身につけることは、世界を舞台にリーダーとして活躍する人材への成長にもつながります。また、その子供たちを産み育てたくなる社会を実現させるためのベビーファースト運動を推進することにより、子育て世代が過ごしやすい環境の醸成を目指してまいります。

子供たちが国際交流を通じて、新たな価値観に触れることの大変さを知り、多様な価値観を持つことが、問題や課題を見つけ解決する力の向上につながります。そして子育て世代が過ごしやすい環境の醸成は、子供たちが活躍する明るい未来を築く一端を担います。

職務分掌

1. 未来を担う子どもたちのリーダーシップを育成する事業の企画・実施
2. ベビーファースト運動の推進